

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド」第10号案件への投資について ～工場のIT化による生産性向上を支援するサービスを開発する「ものレボ株式会社」へ出資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、平成 28 年 2 月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド）」は、第 10 号投資案件として「ものレボ株式会社」へ出資いたしました。

「ものレボ株式会社」は、代表者が自動車業界で培った“ものづくりのノウハウ”とあらゆるモノがネットにつながる“IoT”技術を組み合わせ、「現場で使える」と「見える化管理」をキーワードにした中小工場の生産性向上を実現するサービスを開発する企業です。

当行では、当社に対して創業前から事業化に向けて支援を続けてまいりましたが、今回「京銀未来ファンド」は、当社初の独自開発のシステムとして、小規模工場に特化した汎用的な現場管理ソフト「小ロット生産スケジューラ」を開発した当社への出資を実施いたしました。なお、本件は、当ファンド初の単独出資案件となります。

当行では、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、創業段階から成長段階といった幅広いステージの企業を積極的に支援し、今後もさらなる地域経済の活性化と地方創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	ものレボ株式会社
代表者	代表取締役 細井 雄太
所在地	京都市中京区新町通三条上ル町頭町 1 1 2 菊三ビル 3F
設立	平成 27 年 9 月 1 日
事業内容	工場の自動化・IT化を支援するサービスの開発および販売

2. 投資額

13,200,000円

3. 投資について

中小工場の生産性向上を実現するため、当社独自開発の現場管理ソフト「小ロット生産スケジューラ」など、生産技術とIoT技術を組み合わせ、「現場で使える」と「見える化管理」をキーワードにした自動機や生産システムを開発する「ものレゴ株式会社」に、製品開発資金、営業・開発体制整備資金として出資を行う。

※現場管理ソフト「小ロット生産スケジューラ」の特徴

- ①小規模工場に特化した、現場での使いやすさと機能を実装。
- ②クラウドとwebブラウザを使うことで、現有端末(PCやタブレット)で即利用が可能。導入時の手間や費用を最小化。
- ③生産計画に対する生産実績をワンタッチで収集しリアルタイムで見える化することで、納期遅れの防止や現場管理の省力化を実現。
- ④設備の稼働状況を元に、大手の調達案件を自動マッチングし、設備稼働率の向上と調達業務の効率化を実現。

4. 京銀輝く未来応援ファンドの概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社 京都銀行
ファンド総額	5億円
当行出資額	4億95百万円
設 立	平成28年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上